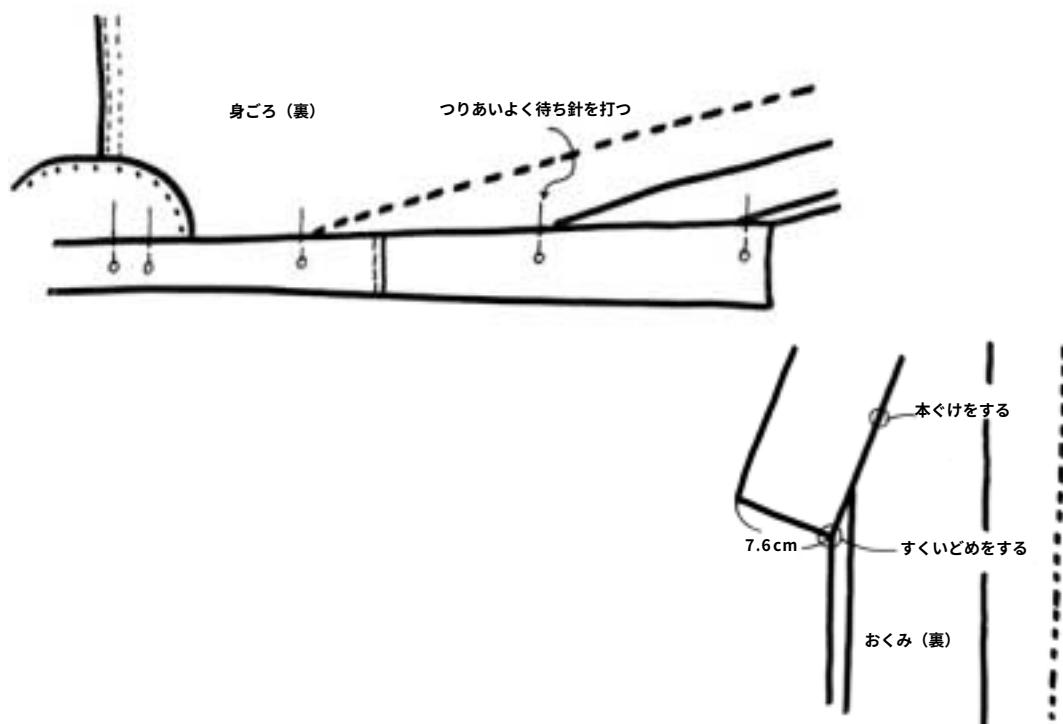


17. えり納め

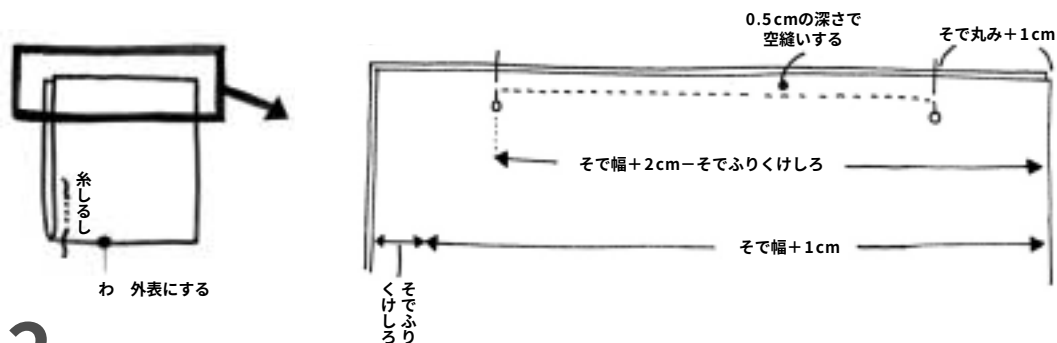
前身ごろとおくみの縫いしろを、かけえりが付いているところの本えりにとじ付けます。えり幅しるしで折りをつけ、前身ごろ縫い込みのつっているところをよく伸ばします。おくみや前身ごろの縫いしろをえりでくるみ、えり幅しるしで縫い込みを折ります。えりがねじれないように布のつりあいを整えて待ち針を打ち、本ぐけで納めます。



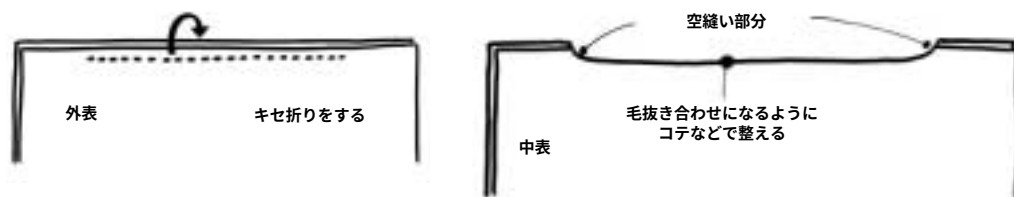
18. そで

(1) そで下空縫い

①そでの糸しるしを確認し、そで下を空縫いします。ただし、そで丸みとふりくけしろの折り返る間は、空縫いをしません。

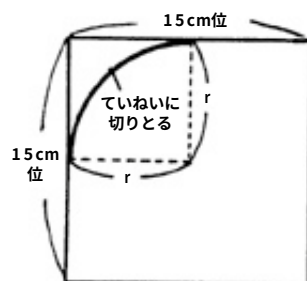


②空縫いにキセ折りをし、中表に返します。空縫いをしたところを毛抜き合せ（キセ山をそろえる）に整えます。



(2) そで丸みの型紙作り

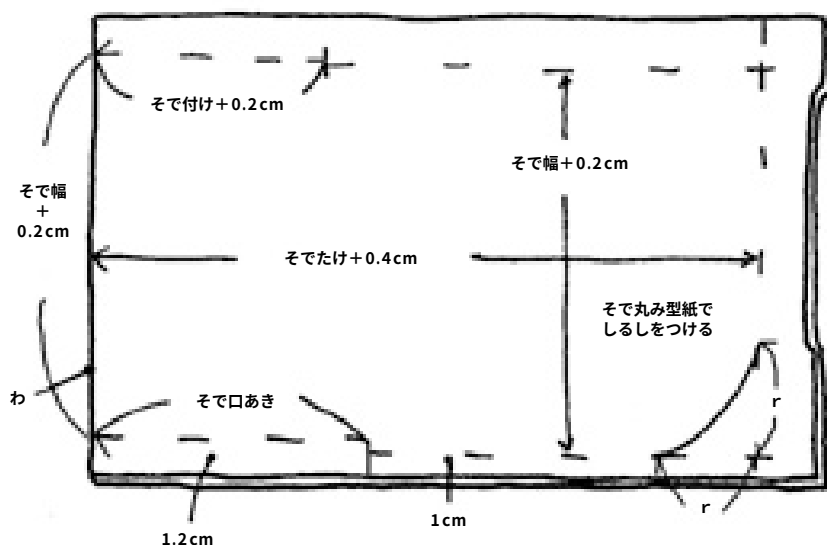
15cm平方位のボール紙を使って、そで丸みの型紙を作ります。きものので丸みの大きさは、半径で表わします。右の図は r cmのそで丸みの型紙です。コンパスを使って $\frac{1}{4}$ の円を描き、線に沿って切り取り、型紙を作ります。



(3) しるしつけ

糸しるしが、そで付け側になるようにそで布を置き、下図のようにしるしつけをします。

- ①そでたけ＝そでたけ＋0.4cm
- ②そで口あき＝そで口
- ③そで付け＝そで付け＋0.2cm
- ④そで幅＝そで幅＋0.2cm
- ⑤そで丸み

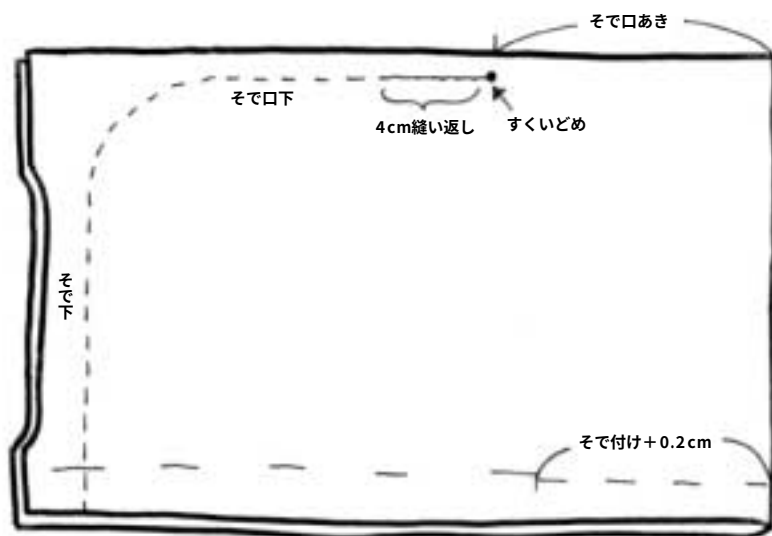


(4) そで口下、そで下の縫い

そで口あきのしるしから4cm縫い返しをし、そで口あきのところですくいどめをします。

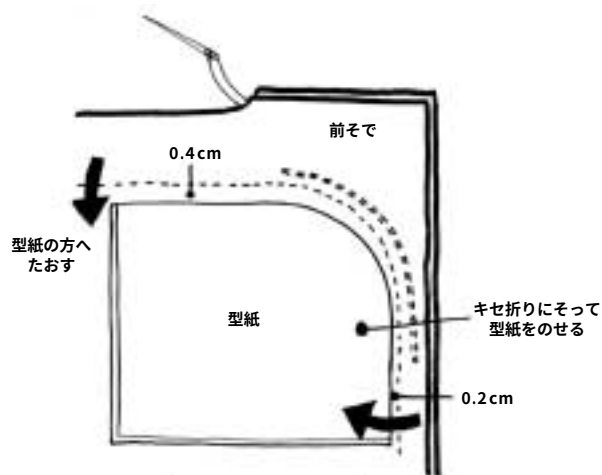
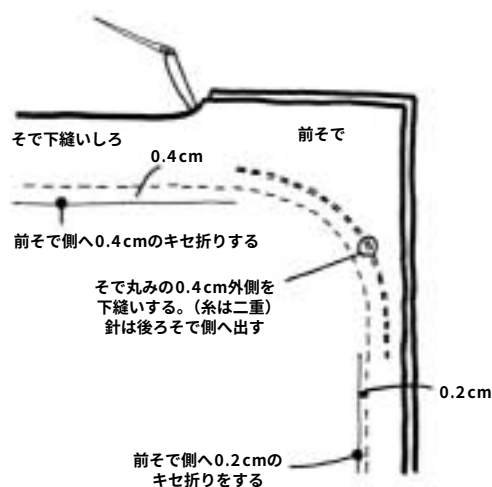
そで口下→そで丸み→そで下へと続けて縫います。

縫い終わったら、前そで側へ（糸しるしの付いていないほうへ）キセ折りを行います。そで口下は0.2cm、そで下は0.4cmのキセ折りを行います。

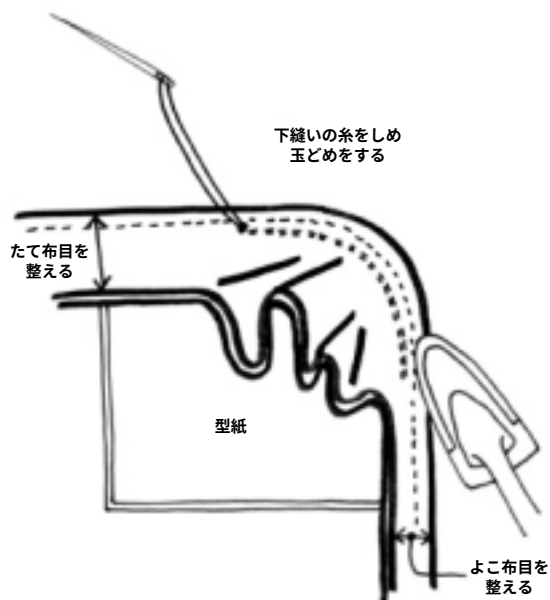


(5) そで丸み納め

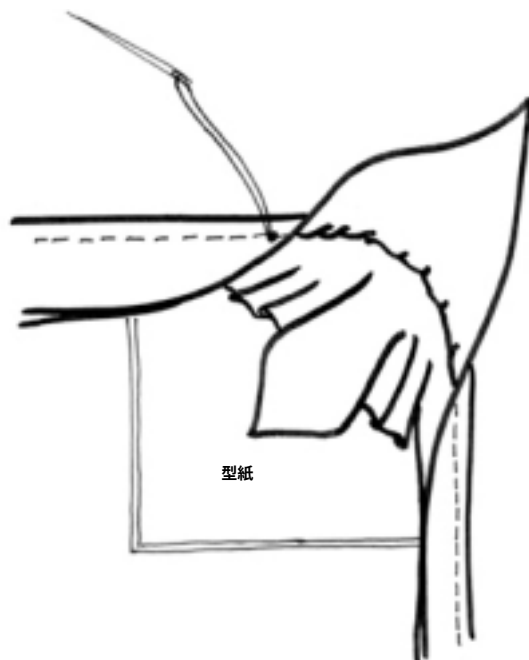
そで丸み納めを行います。下縫いした糸をしっかり引き締め、縫いしろはアイロンやコテでよく押さえることがポイントです。



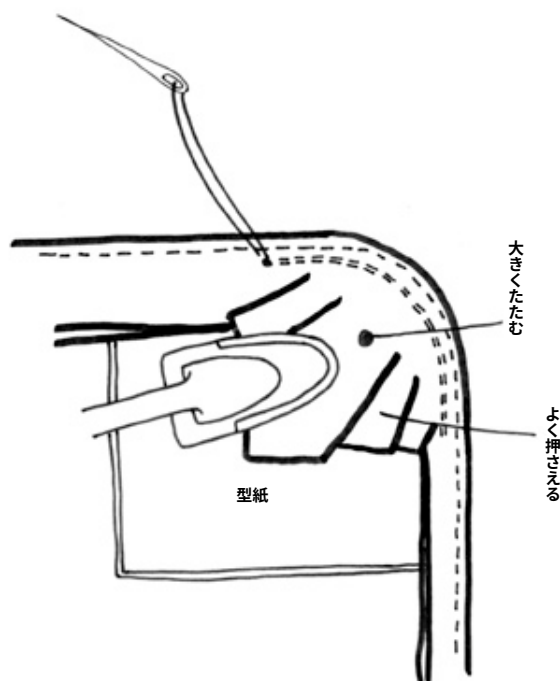
●キセ山で、そで下縫いしろ、そで口下縫いしろをそで丸み型紙のほう（前そで側）へ倒します。



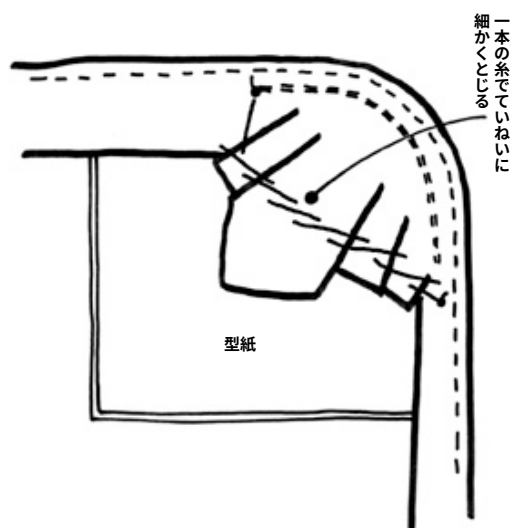
- 下縫いの糸を引きしめ玉どめをし、糸は切らないでそのままにしておきます
- 丸み周囲と下縫いの間のシワをコテ（アイロン）で消すように整えます。



- 前そでの縫いしろを上図のように細かくたたみます。かさばらないように注意
- コテ（アイロン）でしっかり押さえます。



- 後ろそでの縫いしろを図のように大きくたたみ、コテ（アイロン）でしっかり押さえます。

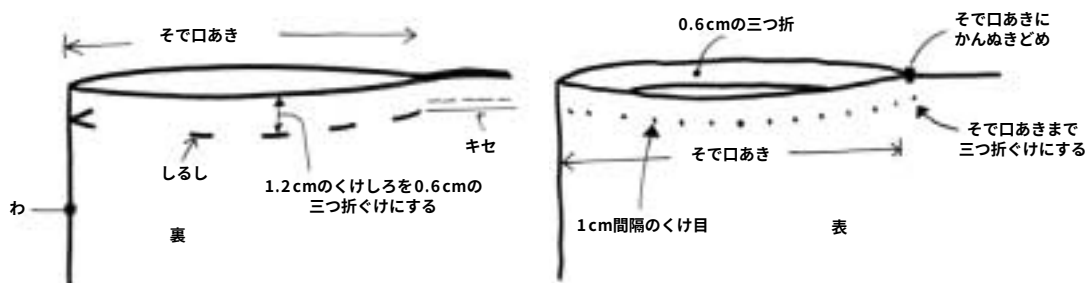


- 残してあった二重の糸を一本切り、一本の糸でそで丸みの縫い込みを返し、針で細かくていねいにとじます。

(6) そで口のくけ、かんぬきどめ

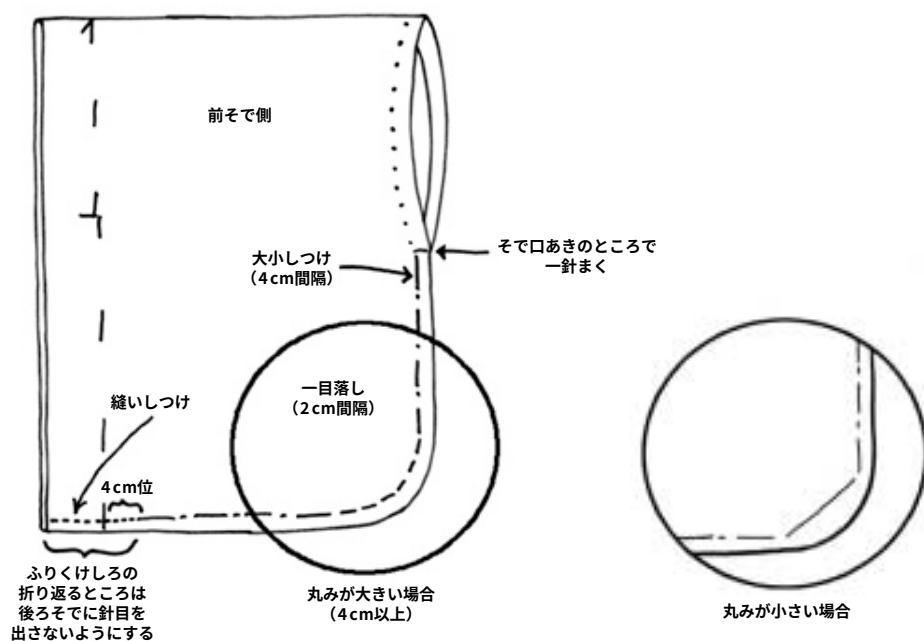
しるし通りにそで口を折り、その1.2cmのくけしろを二つ折りにし、そで口を三つ折りぐけにします（くけ目は1cm間隔）。

次に表へ返し、そで口あきにかんぬきどめをします。



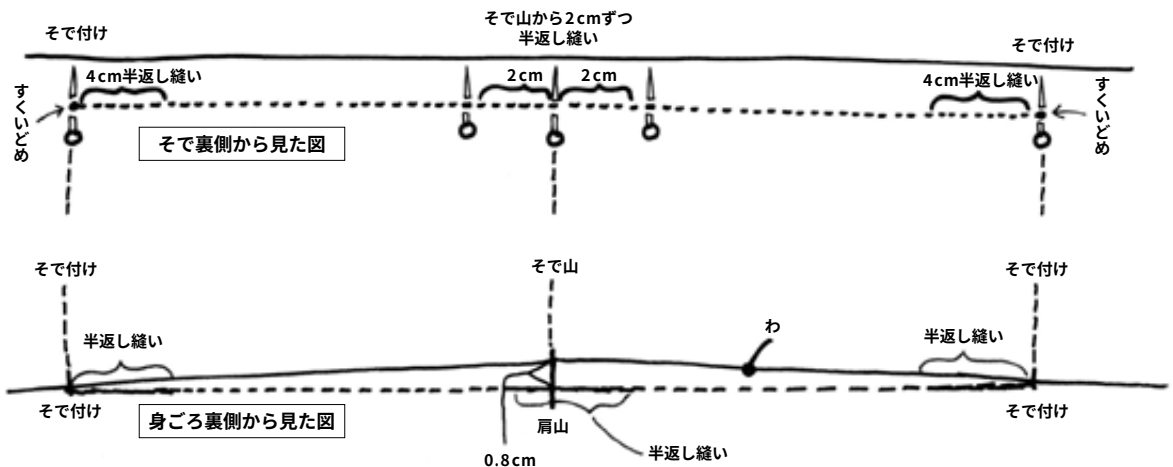
(7) しつけ

前そで側より二目落し（約4cm間隔）をします。そで丸みのところは、一目落し（約2cm間隔）にします。ふりくけしろが折り返る間は、後ろそでに針目を出さないように縫いしつけをします。



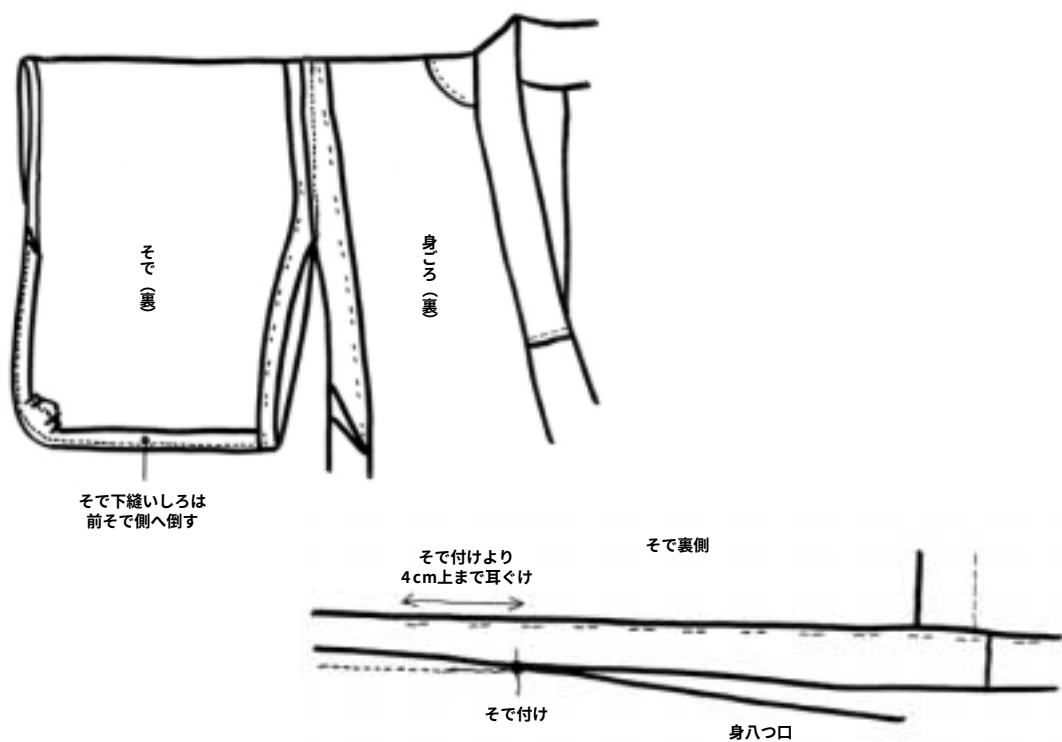
(8) そで付け

そで幅のしるし通りに折りをつけ、身ごろの肩山のしるしとそでのそで山しるし、それぞれのそで付けのしるしを中表に合わせます。下図のように、そで山より2cmずつのところは、そでを少しゆるく待ち針を打ち、縫い合わせます。そで付けのところですくいどめをし、そで付けより4cmとそで山より2cmずつ（合計4cm）の間は、半返しをします。縫い終わったら、そでのほうへキセ折り（キセ0.2cm）をします。



(9) ふり納め

ふりのくけしろをそで裏のほうへしるし通りに折りをつけ、そで付けより4cm上まで耳ぐけをします。そで下の縫いしろは、前そでのほうへ倒します。



(10) かんぬきどめ

そで付け、わき縫いどまりにかんぬきどめをします。

